



# 美しい森林づくり



## ふるさとの山に感謝を込めて 関小学校清掃登山

置賜森林管理署

平成28年8月26日、米沢市の関小学校による吾妻山清掃登山が行われました。

この活動は、地域の宝である吾妻山に感謝の意を込めて、清掃活動を兼ねて貴重な自然とふれあいを求めて登山するという教育の一環で、今年で50回目を迎えました。

吾妻山は、標高2,000m級の山でありながら、地元の米沢市民のみならず山形県民からも、とても身近な存在として愛されており、日本百名山の一つとして全国からも大勢の登山者が訪れています。

また、国内有数の原生的な天然林や、希少な動植物の生態を有していることから、「吾妻山周辺森林生態系保護地域」に設定し、当局でも当該地域の適正な保全管理に取り組んでいます。

吾妻山の麓に位置する関小学校は全校生徒が17名と、とても小さな学校ですが、四季を通して吾妻山の恵みを感じることができ、地域に根付いた学校です。

前日の天気予報では、翌日の吾

妻山周辺は雨のち曇りとなっており、雨天中止も覚悟しましたが、生徒たちの願いが届いたのか、迎えた翌朝は少し雲が覆う程度の絶好の登山日和となりました。

登山当日、元氣よく集まった17名の生徒たちは、校長の挨拶、それぞれの班の目標発表、記念写真撮影の後出発し、リフト3基を乗り継ぎ登山地点へ到着しました。



出発前の記念写真

1年生～4年生は比較的登りやすい「人形石コース」。5、6年生

は健脚の「梵天岩コース」に分かれそれぞれ清掃登山に向かいました。

当署からは職員2名とGSSの4名が参加し、それぞれの班のサポートにあたり、途中で山の動植物や吾妻山の貴重な自然の話しながら、生徒たちと登山を楽しみました。

登山スタートから約2時間、それぞれ目的地に到着した生徒たちは各自清掃活動を開始しました。



1～4年生の清掃活動

これまでの活動の成果もあり、入り込みの多い山にしては、あまりゴミは目立ちませんでした。それでも生徒たちは一生懸命に汗を拭きながら岩の隙間や歩道周辺を必死に探し、袋にゴミを詰めていました。

清掃後昼食を挟み、目的でも

あった「ふるさと」を合唱し、吾妻山を後にしました。



5、6年生の「ふるさと」合唱

リフトを乗り継ぎ朝の集合場所に到着した時には、同行した保護者の皆さんは顔を下に向け座り込んでいましたが、17名の生徒たちは誰一人疲れた表情を見せず、友達と無邪気におしゃべりしていた光景に驚かされました。

閉会式の生徒代表の感想発表で、みんなが目標を達成できたことが一番うれしいと発表した時の、生徒たちの爽やかな笑顔がとても印象的で、ふるさとの山に少しは恩返しできたとの想いがその満足な表情からも伺え、私たちも改めて山への恩恵を見つめ直すいい機会となることができました。一日でした。